

【成長戦略課題候補】

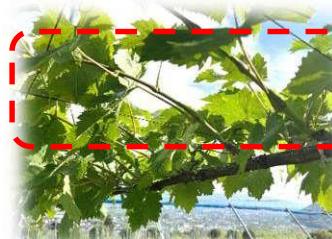
県オリジナルブドウ「サンシャインレッド」の安定生産技術の確立(R6~8年)

果樹試験場

背景・目的

〈これまでの経緯〉

- ブドウ「サンシャインレッド(品種登録名 甲斐ベリー7)」は、これまでに約10,000本の苗木が県内に供給されている。
- 省力化が可能な短梢剪定栽培を行う際には、収量を安定させる技術が必要となる。
- 天候が悪い年でも、安定して着色する技術が求められている。



房数が少ない特徴がある



悪天候でも着色が向上する技術が必要

短梢剪定でも安定して高品質な「サンシャインレッド」を栽培したい！



〈研究の目的〉

- ◎新梢数の制限や薬剤による発芽促進、短梢剪定に適した台木の利用により、安定的に収量が確保できる技術を確立する。
- ◎新規薬剤や肥料の利用、果房周辺の光環境の改善により、安定して着色する栽培技術を開発する。

研究内容

1年目

- 短梢に適した台木の検討
・発芽率、房数

- 発芽や房数の向上の検討
・枝数の制限、薬剤の利用

- 基部の発芽および房数を向上し、収量を確保

- 新規薬剤や肥料による着色改善効果の確認
・房数、収量

- 着色を改善させる資材の検討

2年目

- 枝や葉の除去による果房周辺の光環境改善の検討

- ・棚の明るさ(LAI)、着色、収量、果実品質

- 適切な栽培管理方法を把握し、安定的に良着色とする

- 効果的な薬剤利用による着色改善の検討
・使用濃度や時期、回数

- 外観や食味を維持したまま、着色を改善

3年目

- 台木別の品質検討

- ・成木まで継続して果実品質を調査(後継課題)

- 安定生産技術の確立



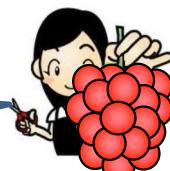
- 短梢剪定栽培マニュアルを作成し、普及

期待される成果

・「サンシャインレッド」の短梢剪定における安定栽培技術が確立し、省力化と早期産地化が進む。

・着色改善技術の確立により、良着色・高品質な「サンシャインレッド」の安定生産が可能となる。

・高品質な「サンシャインレッド」の国内外への供給量が増加し、市場競争力がさらに向上する。



山梨オリジナルの「サンシャインレッド」を食べてみて！